

Vol.88

2011年 11月号



ふみだそう、福祉でまちづくり

「ご近所の底力」からつくる地域の絆

第48回 茅野市社会福祉大会

入場
無料



日 時

平成23年12月3日(土)

13:00~15:30



会 場

茅野市役所 8階 大ホール

- 第1部 式典(13:00から)
社会福祉貢献者・ボランティアグループ表彰
- 第2部
緑のカーテン大作戦in茅野 優秀作品表彰
- 第3部
講演会(14:00から)

【手話通訳・要約筆記があります】

●講師 堀尾 正明 (ほりお まさあき)

○経歴

1955年生まれ 岡山県出身 ニュースキャスター、司会者、元NHKエグゼクティブアナウンサー

『難問解決! ご近所の底力』(NHK)、『土曜朝イチエンタ・堀尾正明+PLUS!』、『誰だって波乱爆笑』(日本テレビ) 他多数出演

「支えあいの地域づくり」が大切で「福祉力」は「防災力」との言葉が心に響きました。

●今回の災害を通して得た教訓
●避難所から他の場所に移動する時には必ず移動場所を記載するようにした。
(安否確認のため)
●防火倉庫は分散し、釜・薪・米も備えるようにした。
●各自の避難袋が重要。衣類・生活用品の他に特に靴・大きな風呂敷・新聞紙が重宝。防災の日には各家庭で確認するようにしている。
●避難や安否確認には、隣組体制が大切なので入区は不可欠。
●災害に強い森林づくりが重要。間伐や植林を子どもから高齢者まで区民総出で実施し、森を身近な存在にした。現地視察で土石流の時は横に逃げる方が安全と強調した。

●「日頃の取り組みが実を結んだこと」
●防災訓練を行っていたので、スムーズな避難、手際よい炊き出しが出来た。
●炊き出し準備が出来るまでは、被害のない家庭で炊き出しを行い避難所に届けた。
●一時帰宅の場合、消防団員と役員を伴い安全確保と被害状況を把握した。
●一時帰宅や復旧作業では、切り傷、擦り傷を絶対しないよう注意した。
(破傷風などの感染予防のために)

過日、日赤奉仕団正副分団長会の研修視察で岡谷市花岡区を訪ね小口瀧明区長さんよりお話しを伺いました。
小口区長さんは、平成十八年の豪雨災害当時も区長を務めており、地域の強い要望で今年任期六年目を迎えます。



広がるあいさつの輪

～各地区での地域福祉行動計画の取り組み～

現在、各地区で策定された「地域福祉行動計画」が具体的な取り組みとなって展開されています。中でも「あいさつ・声がけ」については、年齢や性別を問わず誰でもすぐに行動に移せるテーマとして、様々な形で実践されています。

北山地区

北山地区では、地区社協の事業として「あいさつ運動」を行っています。「毎月1日はあいさつの日」として、“コミュニティだより”を使って周知を図っています。北山小学生から標語を募集し、のぼり旗を作り区内公共施設や小学校の校門にも立て、児童会で毎朝あいさつをしています。



宮川地区



あいさつ運動のポスター作成を宮川小学校5年生と茅野高校美術部に依頼し、また、「あいさつ」の標語を宮川小学校5年生と一般から募集して宮川子どもフェスタや年末防犯餅つき会などで全作品を展示しました。

毎年、あいさつ月間を設けてその月の毎週月曜日にあいさつを呼びかける区内放送を流しています。

今年は11月4日に先生方も校門に立川小学校・長峰中学校・茅野高校で合同のあいさつ運動を行う予定にしています。

ち宮

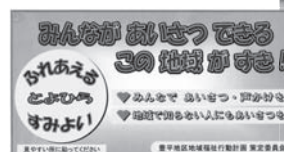
当日は
ポケットティッシュを
配布します。



豊平地区

広く区民からあいさつ運動のポスターを募集し、区民への周知のために「豊平まつり」で応募作品の展示を行いました。同時に、あいさつ運動の認知度を調べるためにアンケート調査も行いました。

また、あいさつ運動のステッカーを作り全戸配布していますが、平成23年度は、豊平小学校の子どもたちとともに準備を行いました。



あいさつ運動ステッカー



今回の取り組みにより周知の方法にも様々な工夫がされました。提示するだけでなく募集することで区民に対しまず関心を持ってもらう。そしてそこで終わるのではなく、次の取り組みに向けて活動をし区民を巻き込んでいく、そのことが周知につながっていきました。

玉川地区

平成22年から「あいさつの日」として、毎月1日から10日の間、のぼり旗を学校やコミュニティなどの施設や地区内の役員宅に立てています。

強化月間を年2回設けて、健康福祉部会が保育園・小学校・中学校であいさつ運動を行っています。子育て部会や消防団にも協力してもらっています。東部中学校では、通学区が共通の玉川・豊平・泉野の三地区合同で行いました。



今まで全市的な取り組みはありましたが地区を越えたものはあまりみられませんでした。しかし今回の取り組みにより、地区同士の連携がより強い活動となりました。

地域福祉行動計画では、それぞれの地区で運動の中心となる団体（地区コミュニティ運営協議会の福祉部会や地区社協など）は異なります。しかし、どの地区を見てもPTAや学校や子どもたち、また、他地区と連携を行い多くの人たちを巻き込んだ運動になっています。例えば玉川・豊平・泉野地区は、区の垣根を越えてあいさつ運動を行っています。また、区民への周知も区内放送や広報誌を使うほか、標語やポスター・ステッカーなどを募集し、区民が運動に関わる機会を作るという方法がとられています。

「あいさつなんて当たり前」と思っている方も多いと思いますが、大人の生活を振り返ってみても「あいさつ・声がけ」は明らかに少なくなっています。スーパーやコンビニでは言葉を交わさなくても買い物ができます。携帯電話なら相手の家族に気を使わずに話ができます。味噌や醤油が切れてもわざわざ借りに行く家庭はほとんど無いでしょう。物が豊富にある時代、子どもたちも誰かと兼用とか人から借りて使うのではなく、自分専用のものを持っています。

そのような中で「あいさつ・声がけ」は、自分以外の人とつながりを持つ第一歩です。子どもから大人まで、地域全体の取り組みの中で「地域づくり」「人づくり」を進めていきましょう。

社協会費にご協力いただきありがとうございました。

平成23年度社協会費の納入に多くの市民のみなさんからご協力をいただきありがとうございました。また、区・自治会関係者のみなさんには、会費の納入にあたりご協力をいただきありがとうございました。

社協会費は、年会費でお願いしておりますので、まだご協力いただいていないみなさんには、ぜひご協力をお願いいたします。《納入先：各地区コミュニティセンター又は、茅野市社会福祉協議会までお願いします。ご連絡いただければ、お伺いいたします。》

総額 10,664,582円

件数 9,646件

(9月30日現在)

(内訳) 普通会費 8,826,582円 (8,914件) 賛助会費 972,000円 (486件)
特別会費 866,000円 (246件)



社協会費は、介護者の方々のいこいの集い・障害者のみなさんの希望の旅・シャララっとサービス・やらざあの発行・社会福祉大会の開催・各地区の地域福祉活動やボランティア活動の支援など、大切に使用させていただきます。

希望の旅

～在宅で生活されている
障害のある方と介護者の方の旅～



楽しい旅のひとつま 【9月28日(水)】

今年度の希望の旅は例年よりも大勢の方々の参加のもと、新潟県の上越方面に行ってきました。久しぶりに顔を合わせる方も多く、バスは和やかな雰囲気が出発しました。最初に訪れた日本海を臨む道の駅「うみてらす名立」では全員で新鮮な海の幸に舌づつみを打ち、次に訪れた「上越市立水族博物館」ではたくさんの魚たちやマゼランペンギンの餌づけショーを観賞しました。

参加者の声

- ・初めての上越の旅でした。
- ・日本海の静かなことに驚きました。
- ・水族館もペンギンに会うのも初めて、おかげ様で楽しい一日でした。
- ・天気にもめぐまれ、楽しい旅ができました。
- ・慣れた顔にも大勢お会いでき、嬉しかったです。

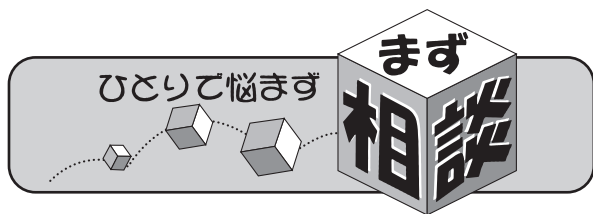
災害救援レポート

今回は、台風15号の影響で予定されていた活動はできませんでした。そこで製品化され出荷直前に被害を受けてしまった石巻市(旧雄勝町)特産の硯(すずり)を職人の指示のもとに仕分ける作業の手伝いをしました。

宿泊した松島は、今回の台風15号の影響で、水路が溢れる等の水害にあいました。店舗に並べてあった商品が水浸しで、「やっと震災後、何とか商売を再開したのに台無しだよ」と肩を落とす店主さんを見て、災害から半年経ちますが、度重なる被害を受けた現地の復興には、さらに時間を要し、何らかの形で継続した支援をしていかなければならないと強く感じました。



大量の硯を前に仕分け作業にとりくむ参加者



人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方
ご相談ください

毎月第1・3月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話／82-0400

福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.88
2011年 11月号

2011年11月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。

読者の声

・子どもと家庭教育センターでよく遊んでいます。子どもが大好きなおもちゃに社協さんの名前が入っているものがたくさんあります。見る度に感謝の気持ちでいっぱいになります。みんなでゆずり合って大切に使いまね。
玉川 30代 女性

・「あすなるセンター」に牛乳パックを届けるようにしたいと思います。
湖東40代 男性Yさん
※ご協力よろしくおねがいします。

・足が不自由の為、買物弱者です。良い方法がありましたら教えて下さい。
ちの 男性
※一度社協にご相談ください。

・福祉などの事で知らなかった事などを知れるので、いい勉強になっています。
中大塩20代 女性

・日々の生活が忙しくボランティアとは無縁の生活ですが、子どもに手がかからなくなったらぜひ参加したい。
玉川40代 女性

・あすなる作業所が紹介されていましたが、なかなか足を運ぶ機会がないので、入所者の皆様方の仕事の内容が良くわかり大変よい勉強になりました。
湖東70代 男性

・つぶやきに書かれていた事は、本当に大切なことだと思います。自分が住んでいる地域で、生きがいを持って暮らせる事は、嬉しいことだと思います。
湖東 60代 女性

・離れて暮らす祖母の痴呆が進んでしまい、こういった支援サービスを本格的に考えなくてはならないと、本誌を読んで実感しました。
宮川20代 女性

今月は

クイズ

ことわざ



下のことわざの□には、同じ読み方ですが異なる漢字が入ります。さて何でしょう？

・花も□もある。

・□もふたもない。

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送り下さい。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

11月末日

前回のクイズの答え

(2)(4)(5)(7)(8)(10)(12)

当選者

矢崎 洋さん（湖東） 小林 郁恵さん（ちの）
原田健三郎さん（玉川）

当選された方には図書カードをお送りいたします。たくさんのご応募ありがとうございます。

